東北大学大学院薬学研究科 今井 潤 教授 「第1回日本高血圧学会賞」受賞について

平成22年10月16日、東北大学大学院薬学研究科 医薬開発構想講座の今井 潤教授が第33回日本高血圧学会にて「第1回日本高血圧学会賞」を受賞しました。

「日本高血圧学会賞」は、高血圧学に関する高い学術的業績をあげた研究者、臨床医学者を顕彰するため創設され、今年初めて実施された名誉ある賞です。

今井教授は、昭和46年に東北大学医学部を卒業以来、一貫して高血圧の病態・成因の解明、診断、治療に関する研究を行ってきました。とりわけ、25年間継続して取り組んできた岩手県花巻市における大規模コホート研究「大迫(おおはさま)研究」は、家庭自己測定血圧に基づく世界唯一の疫学研究として有名です。

「大迫(おおはさま)研究」より得られた「家庭血圧の高血圧、正常血圧基準」は、日本のみならず、地球規模のガイドラインである世界保健機関(WHO)、米国合同委員会、欧州高血圧学会/欧州心臓学会などから極めて高い評価をもって受け入れられ、今日では家庭血圧における世界基準となりました。

これは日本から発信した研究成果が世界基準となった快挙であり、誠に希有なことです。

また、高血圧診療の場において家庭血圧が広く浸透することとなり、今日の臨床高血圧学にパラダイムシフトをもたらしました。

このような社会的業績に対し、これまでも河北文化賞、文部科学大臣賞、日本心臓財団/日本循環器病予防学会予防賞など、多くの顕彰が行われました。

この度の日本高血圧学会賞は、とりわけ、その学術的価値が評価されたものです。長い高血圧学会の歴史の中で、第1回目に顕彰されるという名誉は白眉であり、ここにお知らせする次第です。

問い合わせ先

東北大学 大学院薬学研究科 医薬開発構想講座

(電話：022-795-6857)